

議会だより

Vol.
199
2019.7.19



6月の
定例会

② 常磐線全線開通に向け
先行解除区域を議論

④ こんなことが決まりました
6月定例会報告

⑦ **ズバリ!!町政を問う**
3議員が質問

⑬ つながり、競い合い、高め合う教育を
〈学校訪問実施〉

9年の時を超えて、一致団結／町立幼小中学校合同運動会

スポーツ交流の場、再興へ —合宿センター移転・新築について—

調査の結果、施設の被害が大きい為、既存施設は解体し、相当施設を新たに整備するものです。施設の規模や仕様については、現在の町の状況や施設の利用意向等を踏まえ、今後検討してまいります。

- 【主な被害】
- ・天井ボードはく落、床下地腐食
 - ・給水ポンプ、滅菌機破損
 - ・床シロアリ被害、厨房機器要更新 等



解体予定の既存の合宿センター

完成目標：令和4年3月

子ども達、子育て世代交流の場整備を —地域交流館整備事業—

帰還に対する不安解消や子育て環境の充実を図るため、子育て世代の新たな交流の場や天候や空間線量に関する不安に左右されずに安心して子ども達が遊べる場などの新たな交流拠点を整備するものです。

〈地域交流館コンセプト〉

本施設を「子育て世代を元気にする施設～子どもの成長・発展を促し、見守る施設～」を基本理念とする。

- ①子どもを元気にする
- ②保護者を元気にする
- ③地域を元気にする



子育て世代交流の場(写真はイメージです)

開館目標：令和3年3月

JR夜ノ森駅活用に効果的な道路部分先行解除を —特定復興再生拠点区域先行解除範囲(案)について—

1. 範囲設定にあたっての検討項目

- 特定復興再生拠点区域内の再分割に配慮
- JR夜ノ森駅までのアクセス道路を確保
- 安全な道路交通の確保と利便性の向上



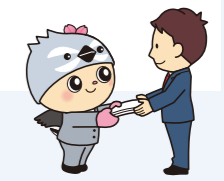
- 先行解除の範囲
※駅までのアクセス道路のみとし、民有地は含めない
- 特定復興再生拠点と避難指示解除区域の境界
- 物理的措置(バリケード)
※状況に応じる
- ⊗ ゲート(移設・新設)

2. 先行解除の範囲

- JR常磐線の鉄道施設区域
 - 県道165号 夜ノ森停車場線
 - 町道1009号 夜の森桜通り線
 - 町道1010号 都市計画4号線
 - 町道2006号 坊小屋桜通り線
- の一部区間

3. 今後の予定

- 国に町の意向を伝達
- 防犯防火対策等の要望
- 国や関係機関と本格協議及び物理的措置等の諸準備



答 福祉課課長補佐
土日で一日あたり100名利用で積算、平日は50名程度。将来の帰還人口を勘案して検討しております。

問 施設規模検討の上で想定する利用者数は何名か。(安藤正純)

答 福祉課長
既存施設利用の変更により新設となったが、規模感、原状に見合った施設を検討してまいります。

問 地域交流館、いままでの施設は不要では？(渡辺三男)

答 生涯学習課長
維持管理、利用見込数等、基本設計で十分検討してまいります。

問 富岡町の財政を考えると、機能集約も必要。規模、仕様については身の丈にあったものを。(安藤正純)

答 生涯学習課長
新たな財源を調整してまいります。候補地は総合スポーツセンター周辺で複数箇所検討しております。

問 合宿センターの機能回復は早急に必要。新築の際の財源、土地の候補地は。(早川恒久)

答 企画課長
バリケードの高さは80cm、ジャバラ式のゲートで約2mとなります。危険家屋についての対策は双葉警察署と協議を実施し、県道沿いの建物については環境省と調整の上、対応してまいります。

問 解除区域周辺の建物の解体状況について。(渡辺三男)

答 生活環境課長
道路に囲まれた部分で約200棟の内、60棟は完了もしくは解体中、50棟は解体検討中とのことで、約90棟は残る見込みとなっております。

問 設置するバリケードの高さはどのくらいになるのか、危険な建物の安全対策は。(高野匠美)

答 企画課長
バリケードの高さは80cm、ジャバラ式のゲートで約2mとなります。危険家屋についての対策は双葉警察署と協議を実施し、県道沿いの建物については環境省と調整の上、対応してまいります。

問 合宿センターの機能回復は早急に必要。新築の際の財源、土地の候補地は。(早川恒久)

答 企画課長
バリケードの高さは80cm、ジャバラ式のゲートで約2mとなります。危険家屋についての対策は双葉警察署と協議を実施し、県道沿いの建物については環境省と調整の上、対応してまいります。

問 解除区域周辺の建物の解体状況について。(渡辺三男)

答 生活環境課長
道路に囲まれた部分で約200棟の内、60棟は完了もしくは解体中、50棟は解体検討中とのことで、約90棟は残る見込みとなっております。



【6月定例会のあらまし】

令和元年度6月定例会は6月12日から13日まで2日間の会期で開催しました。

条例の一部改正案件や工事請負契約及び変更など、計7件の議案を慎重に審議し、全て全会一致で可決となりました。

一般質問では3議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について伺いました。

【椿屋第2・第3ため池放射性物質対策工事変更】

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約変更の概要】

- 変更点
対策面積 椿屋第2ため池 3,280㎡→
3,948㎡底質除去厚 t=15cm/A=668㎡
(追加施工)発生土処理工 N=398袋→
441袋 など

【曲田都市計画街路3号線外整備工事変更】

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約変更の概要】

- 変更点
盛土材料の変更 購入土から採取土へ
地盤改良数量の変更
残存杭の引抜工の追加 など

工事契約(変更)

条例改正

富岡町介護保険税 条例の一部を改正

第一号被保険者について
の保険料の減額賦課に係る令和元年度及び令和2年度の各年度における保険料率を3万4200円とするなどの改正を行いました。
(6月定例会)
全会一致 原案可決



【富岡町議会が表彰されました】

去る6月3日、令和元年度福島県町村議会議長会定期総会において、富岡町議会が優良町村議会として表彰されました。
また、地方自治の振興発展に寄与された功績により、自治功労表彰の伝達も行われ、当町からは、次の方々が表彰されました。

【特別功労者】

※町村議会議員として
20年以上在職

渡辺 英博 議員
高野 泰 議員

【自治功労者】

※町村議会議長として
6年以上在職

塚野 芳美 議長



郷土の歴史を伝える建造物<富岡町指定文化財> 旧大原本店の改修工事を実施

令和2年度の改修工事完了を目指し、歴史的建造物の保全と人々との交流を担う施設整備の請負契約について、可決しました。
(6月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 名称 大原本店旧店舗改修工事
- 工期 令和2年3月13日まで
- 契約金額 7481万3200円
- 契約相手方 山形県新庄市大字福田字福田山711番地6
株式会社 ヤマムラ



<大原本店旧店舗外観(震災後)>



<商家建築の和室>
(震災後)



【歴史的建造物としての位置付け】

大原本店旧店舗は、富岡地域でレンガ製造が最盛期だった昭和初期に建設された建造物であり、シルク紡績など地域の商業拠点の一つとされていました。大原本店の成立は江戸時代に遡り、明治時代には皇太子(後の大正天皇)行啓の際、重要なもてなしの拠点として使用されるなど、地域の名家として位置づけられています。

【活用のビジョン】

歴史的経緯と地域性を学ぶ上での高い価値を有していることから、戦災に耐え東日本大震災からの地域復興の象徴とも言える建物を簡単に壊すのではなく、修繕後は「地域復興の拠点施設」として使用する予定です。

現在、整備を進めるアーカイブ施設と連携しながら「地域復興の拠点」かつ富岡地域の商業・観光を知るための窓口として各種団体の活動拠点を想定しています。



工事契約

こんなことが決まりました。

ズバリ! 町政を問う



3議員が質問

6月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 安藤 正純 議員 8



- 富岡町立小・中学校のあり方は
- 復興拠点再生計画実現の具体的施策は

2 渡辺 三男 議員 9



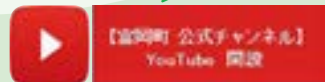
- 法人化による大規模農業推進を
- やな場・ふ化場の早期完成を

3 高野 匠美 議員 10



- おだがいさまセンター閉鎖後は
- 介護制度への周知・理解促進を

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

一般会計 補正予算 農地集積による効率・省力化予算等を計上 《1億9659万円を補正》

非課税子育て世帯向け支援事業、農林水産業関連事業及び道路橋梁費等の計上により、1億9659万円の増額補正を行い、令和元年度一般会計予算は総額200億9919万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
非課税子育て世帯向け商品券事業(社会福祉総務費)	2004万円増
農業農村振興施設管理事業費等(農業振興費)	686万円増
農地基盤整備対策事業費(農業振興費)	1億1200万円増
水産業振興事業費(水産業振興費)	69万円増
道路橋梁管理費(道路橋梁総務費)	5700万円増

議員が切り込む!! 質疑応答

問 曲田都市計画街路3号線外整備工事、今回、改良材の変更で減額ということだが、工事に影響はないのか。(渡辺三男)

答 都市整備課長
現場にてボーリング調査を実施した結果、当初想定していたものより安価な固化剤で十分な強度が得られると町でも確認しております。

問 大原本店旧店舗改修工事、維持管理、人件費等の対応は。(安藤正純)

答 生涯学習課長
施設の維持管理を含め、今後、入居を検討している団体と調整を

諮ってまいります。

問 歴史民俗資料館費、工事費から委託費への組換えについて、どういう当初予算の計上状況だったのか。(堀本典明)

答 総務課長
当初予算編成時は展示資料物の設置工事で想定し調整していた部分であり、事業精査により展示する資料の台、製作物等新たに製作、設置が必要となるものは設置業務委託となる為、組換えを実施したものです。

問 椿屋第2ため池放射線物質対策工事について、設計前調査で今

回追加となる範囲について把握出来なかった理由は。(遠藤一善)

答 産業振興課長
面的に調査をし、測定地点も増やして調査したが、把握出来ませんでした。工事着手に際して再度調査した際に判明したもので、今後は事前調査段階から十分な測定を実施してまいります。

問 土木費について、長寿命化を図る橋梁について具体的に示せ。(遠藤一善)

答 都市整備課
現在実施している調査結果をもとに、今後進めてまいります。5年に1回点検をしております、改善が必要な橋梁について、順次改修を進めていきます。



渡辺 三男 議員

問 法人化による大規模農業推進を

答 法人設立や企業の農業参入を積極的に支援

問 産業振興課長
現在、3地区(下千里、大原、原下)を選定し、説明を実施しています。農業者の

問 基盤整備の地区の選定、農業者の意向把握は。

答 町長
担い手の発掘と育成、農地の集積、販路の確保と拡大、風評払拭に取り組み、農業基盤整備事業により営農の基盤を整えつつ、法人設立や企業の参入を積極的に支援します。

問 農業法人化を積極的に進め、大規模農業にすべきと考えるが、町の考えは。

意向に関しては、権利や相続の問題などもあり、丁寧にお話をしながら、意見を伺っております。

問 カントリーエレベーターを整備し、農業の効率化に取り組むべきと考えるが。

答 産業振興課長
カントリーエレベーター整備の必要性や財源など様々な観点から精査が必要と考えており、各種団体、農業者と協議しながら進めていきたいと考えております。

問 畜産再開と農業は密接に関係しており地力の低下により堆肥の確保も求められるが、町の考えは。

答 産業振興課長
畜産については、組織化した上で再開を目指す動きがあり、町としても近い将来、耕畜連携の取り組み



震災後、操業を休止している㈱タカヤマ

が進められるよう、支援してまいります。

問 震災前、食物残渣で有機肥料を作っていた(株)タカヤマの堆肥について、農業に必要なものと考えているが再開についての状況は。

答 産業振興課長
事業者を確認したところ、町の状況を見極め、判断する旨回答をいただいております。原料の生ゴミ確保や臭気の問題などを踏まえて、あくまで会社かどのようになりたいと考えています。

問 やな場・ふ化場の復旧について、現在の進捗状況は。

答 町長
やな場を来年秋ごろ、ふ化施設を令和4年3月ごろに復旧すると定め、財源含め関係機関と協議、調整を進めております。

問 観光やな場の価値を持たせることも必要だと考えるが場所についてはどのように考えているのか。

答 産業振興課長
富岡川漁業協同組合から要望をいただき、観光の面からのご意見も踏まえ検討した結果、やな場は、震災前と同様の場所では、ふ化場につきましては、水道企業団の事務所周辺というこ



津波で被災した鮭増殖場(解体済)

答 産業振興課長
やな場につきましては、取水用の井戸など最適な水の確保という観点や、漁協の考えを取り入れた上での総合的な判断から、ふ化場は別な場所にと最終的な方針を出したものです。

問 やな場とふ化場の場所選定の理由について示せ。

とで基本設計を実施し、進めていきたいと考えております。

問 富岡町立小・中学校のあり方は

答 検討委員会を設置し検討する



安藤 正純 議員

問 三春校は令和4年3月末をもって閉校となるが、富岡校との統合なのか。

答 教育長
三春校は閉校であり、廃校のように学校を廃止するものではありません。過日、検討委員会を設置し、富岡町にとつてどういふ学校の在り方が良いのか議論しております。

問 富岡校は小中で町内に4校あったものを、1校舎で対応しているが、将来教室の数は足りるのか。

答 教育総務課長
町の帰町計画に基づくくと人口が平成37年3



令和4年3月末で閉校となる三春校

答 教育長
町長は福島県庁並びに文部科学省に県立富岡高等学校の再開を強く求め、福祉関係の学校にしたいと要望を出しており、私は町立の日本語学校を設置し外国人を呼び込むような可能性もあるのではと、定例教育委員会で話し合っているところです。

問 教育長の私見で結構だが、教育の分野で町に賑わいを取り戻す施策はあるか。

月ピークで4100名となるが、児童生徒数が現在の比率から123名になると予想され、1学年平均14名となることから現在の校舎のみで足りる見込みです。

問 復興拠点再生計画実現の具体的施策は

答 アクションプランを年度内に策定

問 特定復興再生拠点整備は、1年程前に始まっているが、内容・方向性は。

答 企画課長
今年度末を目標に策定する特定復興再生拠点整備区域内のアクションプランで復興のイメージをお示したいと考えております。なお、過去に実施した意向調査では医療や福祉・商店などの以前の機能が戻ればという意見が多く、公共施設の在り方や地域の方々の心境的変化等、地域を取り巻く状況から絵姿を描くにあたっては難しい部分があります。

問 里山再生モデル事業が、グリーンフィールド富岡周辺において昨年と一昨

年行われ、毎時1〜2μsvと成果が見られないが。

答 産業振興課長
当該地区のモデル事業は景観的に健全な育成が認められないとき、間伐することによって森林内をきれいに保ち、イノシシ等の隠れ家を無くす観点での林野庁の事業であり、剥ぎ取りを実施した環境省と比較して線量は落ちておりません。

問 リフレ富岡は町財政を考えたとき、身の丈にあった施設にすべきでは。

答 健康づくり課
ご指摘のとおり、リフレ富岡については、現在、調査の財源調整を実施しており、年度内の被害調査完了を目



区域外で放置される被災家屋、危険性も高い

答 町長
特定復興再生拠点区域に位置付けられなかった区域の問題は、国でも決して諦めておりません。今後、第8次提言が出ると思いますが、当然除染、解体、そして解除、これらについて触れていただくよう引き続き要望してまいります。

問 町長は区域外のところも遜色なく対応したいと答弁しているが、国だけでなく、東京電力にも対応させるべきでは。

指しております。施設の在り方、利用状況等を含めて十分検討を進めてまいります。

とみっぴーの追跡レポート

あの質問どーなったっぴ?



問 帰還困難区域内のバス観桜は可能か

答 現況では限りなく不可能に近い

(平成29年12月定例会 遠藤一善議員一般質問)



実績

さくら祭り 2019 においてバスによる観桜が実現

約900名の方々々が9年ぶりに帰還困難区域内の桜のトンネルを楽しみ、多くの参加者から感動の声を頂きました。

問 職員通退勤バスの今後の見通しは

答 継続か否かの検討が必要

(平成30年12月定例会 渡辺正道議員一般質問)



実績

平成31年4月より職員の通退勤バス運行を廃止

利用する職員数や費用対効果、安全性等様々な側面から検討し、平成31年4月より職員の通退勤バス運行を廃止しました。

今号の表紙



響き渡る子ども達の歓声

〔町立幼小中学校合同運動会〕
 去る、令和元年5月25日(土)富岡町立富岡第一中学校グラウンドで9年ぶりに幼小・中合同の運動会が開催され、多くの保護者、町民の方々にご参加いただきました。
 震災後、毎年ご協力頂いている千葉大学の学生の力強い応援や、世代を超えて競技に取り組む参加者の姿、響き渡る子ども達の歓声、何よりも再び町内で開催出来た事が、復興への第一歩であると感じます。



[9年の時を超えて、一致団結]

問 おだがいさまセンター閉鎖後は

答 郡山市内の公民館などを利用



高野 匠美 議員

問 来年3月末で閉鎖となる、郡山地域のおだがいさまセンターだが、今も色々なサークル、お茶会などを行っており、とても重要な役割を担っていると考える。閉鎖後の町民への対応と集える場所はあるのか。

答 町長

心の復興という観点からも大切な役割であり、町民が主体となつて心の復興に取り組める環境づくりの必要性も認識していることから、今後必要と考えるところはあります。閉鎖後につきましましては郡山市内の公民館や集会所が利用できるような調整を進めてまいります。

問 郡山市内の集会所、公民館等の使用が困難な状況がある中、復興団地内の集会所を利用することは可能か。

答 住民課長

まずは郡山市内の集会所、公民館等の利用を検討いただき、町も、郡山市の協力の上で使える施設を探り、復興住宅の集会所についても管理者と相談し、利用について検討させていただきたいと思っております。

問 公民館や集会所の使用料や講師料の補助は考えているか。

答 住民課長

今後、十分に検討は必要ですが、郡山市民が利用する際にも使用料は発生し、利用者が負担していることから、基本的には同様の取扱いとなると考えております。



多くの町民が交流を深めるサークル活動の場



今年度末で閉鎖となるおだがいさまセンター

問 いわきのサロンはいつまで継続出来るのか。

答 住民課長

利用者が多数であることから継続しておりますが、今後は、利用実態等の動向を確認しつつ、財源を含めて方向性を検討してまいります。

問 介護制度への周知・理解促進を

答 パンフレットの作成配布、丁寧な説明

問 介護制度について老人会や町民が集まる場所へ行き説明する、チラシなどは町民に分かりやすい用語や見やすい説明注記等の工夫をすべき。

答 福祉課長

皆さんが集まる場所へ出向き、丁寧な説明をと考えております。チラシなどにつきましても、字の大きさや挿絵、注釈等を分かりやすい表現に変えてまいります。と考えております。



問 民生委員からの報告の取扱いについて、その生の声を聞き、町は町民の状況を詳しく把握すべきでは。

答 福祉課長

民生委員からの報告書で対応が求められる方については月に1回、役場、社会福祉協議会、包括支援センター等福祉関係機関会議を開催しております。
 民生委員協議会としても毎月役員会、委員会等開催している為、そういった場に福祉課職員も出席することで、生の声を把握出来るかと思っておりますので、前向きに検討してまいります。



総務文教常任委員会



委員長 渡辺三男



副委員長 安藤正純



1番 渡辺高一



2番 遠藤一善



3番 宇佐神幸一



4番 渡辺英博



5番 黒澤英男

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

Q 町内の公営住宅は足りるのか、余裕をもった対応が必要と考えるが。

A 新たな戸数は増やさなくても、条件の見直し等も含め、借上げ型と合わせて需要を見ながら判断していきたいと考えます。
新たに建設する予定はありません。 【総務課】

Q アーカイブ施設整備について。浪江町・双葉町に県の施設も出来るので、双方向性で関連させられるか？

A 造成工事に着手、今後建築工事、展示内容についても検討してまいります。当然、福島県とも、集客、視察、周遊等で調整を実施し、連携していきたいと考えております。 【生涯学習課】

Q この施設に来れば震災、原子力発電所事故の被害が伝わる施設に。

A 住民目線で様々なデータを集め、地域資料と合わせて展示を検討してまいります。 【生涯学習課】



地域の歴史と震災、事故の教訓発信を



学びの森西側にて造成工事実施中

Q 「桜」について、新たな名所づくりも必要では。町全体で「桜」を増やしていくような動きが求められる。

A 新たな名所づくりについては、構想の検討に着手したところです。事業課とも折り合いをつけ協議してまいります。 【企画課】



Q 産業団地先行造成区画の応募状況は。また、募集期間終了後の案内については。

A 現在応募頂いている事業者は2社(地元1社、新規1社)となっており、問い合わせも多数頂いている状況です。空きがある場合は随時募集してまいります。 【企画課】



進む造成工事 先行供用開始区画は令和2年4月供用開始予定

Q 公害への対策についてしっかりと確認を。

A 産業団地への申請時に関係機関、関係課としっかりと協議して対応してまいります。 【企画課】

Q 子ども達の交通安全確保についての対策は。県外から多くの作業員が滞在しており、道に不慣れな者もいる為、十分対策を。

A 事件毎に注意喚起が寄せられております。町内ではいまのところ子ども達に関連する事故報告はありませんが、交通安全教室等で指導しております。保護者の方々へも文書で周知、警察及び学校で連携してまいります。 【教育総務課】

※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

- 議会事務局
- 出納室
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 総務課
- 所管課

産業厚生常任委員会



委員長 早川恒久



副委員長 堀本典明



1番 渡辺正道



2番 高野匠美



3番 高野泰



4番 高橋実



5番 塚野芳美

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

Q 夜ノ森駅西口広場の整備は駅の供用開始に間に合うのか。東口駅前広場の活用は。

A 西口は橋上駅建設工事のヤードとして使用中であり、下半期に施工するものの、開通時期には粗造成までとなる見込みです。舗装は来年度を予定しています。東口駅前広場については、北側の駐車場は残し、公衆トイレを解体し、駐車場へのアクセスを確保、解体したトイレについては待合室と合わせて昔の駅舎を思い出せるような施設を整備予定です。【都市整備課】



進む夜ノ森駅の再整備



活用が期待される東口駅前広場

Q 用途地域の見直しについて、短期間で効果的な見直しを。

A 現況調査を実施、各種計画との整合性を図りながら都市計画審議会に諮ってまいります。検討状況については、別途お示しさせていただきたいと思っております。【都市整備課】

Q 営農再開に向けた作付け再開状況で、ソルガム 100a とあるが、これは実証のみなのか、また販売、利活用までを想定した栽培なのか。

A 現時点では販売まで見据えたものでなく、今回の実証実験の結果を受けて検討してまいります。【産業振興課】

※ソルガムとは？

イネ科の穀物で、日本では“たかきび”とも呼ばれています。食物繊維、ミネラルを豊富に含む穀物で、中には草丈が4m以上にもなるものもあります。



実証実験中の「ソルガム」



Q 農地の保全管理、定期的な放射線量の測定は。

A 継続調査は実施していなかったことから、各地区でポイントを絞って、JA等の協力の上測定してまいります。【産業振興課】

Q 過去の測定をしておらず、原状しか分からないのは問題である。測定を実施し、より一層の安全安心の確保に努めるべき。

A 除染前、除染後のデータしか持ち合わせておりませんので、今後はしっかり対応させていただきます。【産業振興課】

Q 伐採木、枝打ち、除草した草の処分に困っている人が大勢いる。木材は流通出来るという解釈でよいのか。

A 伐採木についての市場流通基準が製材して廃棄物として出てくる部分が6400ベクレル/kg以下であれば流通出来ると確認しております。草の処分については、環境省で4月以降解除区域内のフレコン回収を終了してしまった為、今のところ広域圏組合での対応となります。今後、町として何が出来るか関係課と協議してまいります。【産業振興課】

Q 6400～8000ベクレル/kg以下の枝打ちした枝、除草して山積みになっている草等が放置され様々な問題が生じる、個人での負担が大きい為、処分方法を提示してほしい。

A 6400～8000ベクレル/kg以下の木材の処分については、原状は個人で対応頂くしか解決策が無い状態です。8000ベクレル/kgを超えるものについては草も同様で特定廃棄物として環境省に協議可能です。検討課題として対応策を検討してまいります。【産業振興課】

Q 民生委員の人選について

A 避難指示解除前の行政区割で選出していたが、現状を踏まえると町内居住者の方をお願いしたい。しかしながら、なり手不足等もあり、継続出来る部分は継続して選考委員に諮って検討してまいります。



【福祉係】

※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

- 郡山支所
- いわき支所
- 生活環境課
- 産業振興課
- 農業委員会
- 健康づくり課
- 福祉課
- 都市整備課
- 所管課

要望① 2号機オペフロ南側開口からの燃料取り出し工法を検討せよ



安藤正純議員

2号機オペレーティングフロア、屋上の線量が高いということであれば、脇から取り出す方法では？

上からのアクセス、原子炉上部にあたる床面が線量が高く、屋上を開けると飛散してしまう可能性があるため、飛散、被ばく等の状況を踏まえ、どれが最適か検討してまいります。



東京電力㈱

要望② 雨水の建屋流入防止対策を



東京電力㈱

台風、梅雨等雨量が多くなる季節に入る、建屋カバー等建屋本体の雨水対策について示せ。

雨水防止のカバーについては屋根、上部ガレキの撤去作業を実施しており、そちらを優先しなければならないため、現実的ではないと考えております。



遠藤一善議員

要望③ 安全な排気筒解体作業の徹底を



高野匠美議員

7月下旬から1・2号機の排気筒解体を開始することのだが、解体時に放射性物質が飛散しない取り組みは？

飛散防止対策について、解体、飛散防止剤散布、吸引装置、ダストモニターで基準を超えたら中止。台風時など風が強いときなどは外部に影響が無いように計画いたします。



東京電力㈱

要望④ 特定復興再生拠点区域外の積極的な対応について



東京電力㈱

帰還困難区域の特定復興再生拠点区域外の解体・除染等において、国の動きが見えない中、東京電力として出来ること、しっかり現地を見て確認し、検討して頂きたい。

責任として、自身も現地を確認し、住民の意向等勉強しつつ、国に働きかけてまいりたいと考えております。



渡辺三男議員

「つながり、競い合い、高め合う教育を」

～ 学校訪問 ～

三春校



対話形式で分からない事はすぐ質問

訪問日時：令和元年6月26日 9:00～10:30
 ○幼稚園 6名 小学生 9名 中学生 10名
 ○令和4年3月末をもって閉鎖が決定している
 ○なりたい自分への目標設定、自己肯定感の醸成、外部とのコミュニケーション、自己表現の機会を確保
 ○富岡校との連携、夏休みに富岡町内宿泊での交流イベントを企画
 ○近隣他校とのスポーツ(部活)を通じた交流、自信を身につけ、競い合い高め合う姿勢を大切に

富岡校

訪問日時：令和元年6月26日 12:40～15:00
 ○小学生 16名 中学生 10名
 ○昨年度開校し、2年目を迎える
 ○地域を挙げた合同運動会を実施、「コミュニティの拠点となる学校」へ
 ○「教えすぎる教育」から「教えない教育」へ
 その道のプロから「見て」「聞いて」「試して」身につける体験学習
 ○「学校は復興の拠点」富岡プライドを育む教育



納得がいくまで、何度でも自分で体験

三春校
 〇 夏休みの富岡校との交流イベント、宿泊や食事は。(渡辺三男)
答 学校長
 現在、富岡校での宿泊で調整中です。食事は地元企業の提供や子ども達自らの自炊、保護者等の協力で対応予定です。
 〇 閉鎖に伴い途中で転校や新しい環境への不安もあると思うので、しっかりとフォローを。(遠藤一善)
答 学校長
 フォローはもちろんのこと、外部とのコミュニケーションや様々な場面で自己表現できる体験など、自己肯定感を持つてるカリキュラムを組んでまいります。
〔富岡校〕
 〇 「富岡プライド」他校との定期戦等で競争力が生まれる。そういった企画の検討は。(安藤正純)
答 学校長
 同学年同士の取り組み、他校との繋がりを深めていきたいと考えています。
 〇 他世代教育・コミュニティの拠点で様々な人が訪れる、リスク管理の徹底を。(安藤正純)
答 学校長
 ソフト・ハード面から安全管理に取り組んでおりますが、防犯カメラや人口の管理等、引き続き対応を検討してまいります。

『おいしい給食をみんなで一緒に♪』

富岡校では、児童生徒と共に、給食を頂きました。準備から、議員のエスコートまで、照れながらも楽しそうに行っている子ども達の姿からは、本当に学校生活を楽しんでいる様子が伺えます。明るい笑顔で場の雰囲気盛り上げてくれました。



給食試食



復興へのあゆみ

Step.14

様々なイベント等で、町民『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を富岡町の現状を

の方から多く聞かれるのは富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、お伝えします。

事業者支援・地域経済活性化へ

新商工会館完成
2019.7.5 落成式



③富岡町商工会
福島県双葉郡富岡町2丁目111
TEL: 0240-22-3307

富岡町プレミアム付
商品券販売中

営農再開支援の拠点

2019.5.21 竣工式
2019.5.27 業務開始



①JA 福島さくら ふたば地区本部・富岡支店
JAバンク 富岡支店 営業時間 8:30~15:00
福島県双葉郡富岡町大字下郡山字真壁 300
TEL: 0240-22-3131
※富岡農業資材センター敷地内



イベント報告

『にこにこフェスティバル』を開催しました!!

- 令和元年7月6日(土) 10:30~15:00
- 富岡町立にこにここども園

令和元年7月6日(土)に富岡町立にこにここども園において、『にこにこフェスティバル』が開催され、多くの方々が町内外から来園されました。

会場では、参加者全員でのダンスや、様々な体験教室、アンパンマン列車、大型ラビットなど、多数の催し物で賑わい、子ども達の笑い声が響いていました。



とみっぴーも遊びに行ったっぴ♪

緑日コーナーや手投げ飛行機作りも大人気♪

利便性の更なる向上へ

2019.6.27 OPEN



②LAWSON 富岡上手岡店 営業時間 6:00~20:00
福島県双葉郡富岡町大字上手岡字日南郷 6
TEL: 0240-23-6878



ちひとと

みなさまの声

4月に開園した富岡町立にこここども園の先生お二人に、富岡町の保育・教育についてお話をお伺いしました。

Q①. 富岡町の保育及び教育の現状について、どのように感じていますか。

Q②. 今後、富岡町の保育及び教育に必要なことはどのようなことだと思いますか。
どんな保育・教育をしていきたいと考えますか。



鈴木 可奈美さん
(いわき市出身)

A. ①他の園と比べると、まだまだ子どもの数が少ないと感じていますが、子ども一人ひとりに目が行き届きやすく、丁寧に関わることができています。その反面、子ども同士の間わりの中で育つ社会性や気持ちなどが育ちにくい環境ではあると思います。

②より沢山の子どもたちが富岡町に来てくれることが一番だと思っています。今は、少人数保育の強みを活かして、子どもたちや保護者の皆さま一人ひとりに寄り添い、伸び伸びと育つような保育を目指していきたいと思っています。

A. ①子どもが少しずつ増えてきてはいますが、まだまだ子どもが少ない状況です。

手厚い保育ができ、子ども一人ひとりに寄り添って保育を進めていけることは良い点だと感じています。集団でのルールや遊びなど人数が少ないからこそ、難しいことが沢山あり、今後どう進めていくかが課題であると思います。

②子どもを主体とした保育の中に、ルールや決まりがあることをしっかりと伝えていくことが大切だと思います。子どもが少ないからこそできる保育、主体性を大切に、一人ひとりがのびのびと個性を発揮できる保育をしていきたいです。



武田 美柚さん
(富岡町出身)



【Message】

病院（特に小児科や産婦人科）があれば、子育てをする家庭がもっと富岡町に住みやすくなると思います。



お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

議会を傍聴しませんか？

- 9月定例会は、10日(火)～12日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



委員 安藤正純
委員 遠藤一善
委員 高野匠美
委員 渡辺正道
副委員長 渡辺高一
委員長 堀本典明

議会報編集特別委員会

議長 塚野芳美
発行責任者

(渡辺 正道)

新元号「令和」もスタートし、議会に於いては新たな気持ちで今後の富岡町の発展とさらなる町民福祉の向上に努める事に、本報の在り方を考えながら、各委員それぞれの立場で活動していかねばと感じました。

梅雨入り後の初定例会・全員協議会・各委員会開催。町民の皆様が直結した多くの事が決まりました。それらを分りやすくお伝えするのが本議会だよりの役割で、その先には富岡町の将来像も見えてきます。

編集後記

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町議会公式
ホームページ



富岡町議会

で 検索

